

メッセージ題「平和のきずな」 <先週の講壇より>

「平和のきずなで結ばれて、聖霊による一致を守り続けるように努めなさい。」エペソ4:3

エペソ人への手紙は、パウロによる獄中書簡の一つで、当時の教会の異端問題について、教会を建て上げるという視点から書き送られたものです。そのような目的がありますから、この聖句が示すのは、すなわち教会に関することだということが分かります。しかしそれだけでなく、人間関係の一致、お互いの関係においても、同様のことが言うことができるでしょう。そしてそれには、イエス様とあなたが、まずは平和の絆で結ばれる必要があるのです。

延期された東京オリンピック、今夏の開催もどうなるのかといったところです。ところでそのオリンピックの後には、ハンディキャップを持った方々によるパラリンピックが開催されます。その中に視覚障害者のマラソンがありますが、目が不自由なのにどうやってマラソンを走ることが出来るのか。それは、伴走者という存在があるのです。伴走者とロープでつながれ、共に走るわけですが、そのロープの名称はなんと「きずな」と言うそうです。「素晴らしい伴走者が一緒なら、まるで自分の目で見てゴールを目指しているようだ」という、ある選手のインタビューを読みました。

人生はマラソンに例えられるがごとく、平坦な道のりではありません。でもイエス様と絆で結ばれたなら、私たちの人生には平和、平和、安らぎがあります。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



#### 《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

#### 《 使 徒 信 条 》

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

#### 「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2021年6月6日

オレンジ郡  
キリスト教会

礼拝：9時半～  
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



#### 【教会年間聖句】

「あなたがたは、いのちの言葉を堅く持って、彼らの間で星のようにこの世に輝いている。」

ピリピ2:15

#### ☆集会案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40  
ブレイク : 10:45-11:00  
バイスタ : 11:00-12:00  
みふみ会 : (水) 10:00-  
定例祈禱会 : (水) 18:30-

